

第 27 回潮来トライアスロン全国大会
レースレポート

平成 25 年 6 月 15 日

岩渕 努

期日 平成 25 年 5 月 26 日 (日)

場所 茨城県潮来市

天候 : 晴れ

成績 (完走者数 181 名)

スイム 1.5km 24 分 14 秒 (7 位)

バイク 40km 1 時間 00 分 59 秒 (2 位、通過 2 位)

ラン 10km 38 分 44 秒 (8 位)

総合 51.5km 2 時間 03 分 57 秒 (3 位)

MATERIAL

Bike SCOTT PLASMA Premium

Run Shoes ZOOT Ultra RACE 4.0 (First Run)、KIAWE(Second Run)

Tri Suit ZOOT Performance Tri Team Tank, Team 8" Short

Accessory ZOOT Ultra IceFil® Arm Coolers,
Ultra 2.0 CRx Calf Sleeve
Performance Ventilator Visor

Chemical **HOLMENKOL**

チェーン : ルーベエクストリーム、ルーベンスピード、ダートプロテクター、スポーツクリーン、ケアフリース

フレーム : スポーツポリッシュ、アクアスピード、ダートプロテクター、ケアフリース

シューズ、ウェア : ハイテクプルーフ、テキスタイルウォッシュ

ウェットスーツ : ハイテクプルーフ、テキスタイルウォッシュ

サングラス : ノーフォグ

Bar Tape LIZARDSKINS DSP Bartape 2.5mm

今シーズン、ショートディスタンス（51.5km）の大会としては初戦。ショートでは瞬発的なスピードを要するため4月の宮古島大会以降、これに対応できるよう、スピード練習の比重を高くしてきた。

簡単にコースを紹介。

スイムは一周750mの三角形のコースを反時計回り。バイクは1周約13.4kmを3周回するフラットなコース。ランは片道2.5kmを2往復するこちらもフラットなコースである。

本大会出場の約1ヶ月前に、全日本トライアスロン宮古島大会に出場したが、悪天候のためスイムが中止となったため、今シーズン初のオープンウォーターであった。



スタートはフローティングスタート。スタートしてすぐにバトルからは抜け出すことができたが、やや低めの水温に適応するまでにしばらくかかってしまった。適応してからはできるだけピッチを上げるようにして泳ぎ、スイム7位でフィニッシュ。スイム→バイクへ移る道を走っていて、バイクをスタートさせる選手とのタイム差を考えたとしても、やはりスイムでミスしてしまったように感じていた。

バイクに飛び乗り、ここから先頭を追う。ロング明け最初のショートであったためかスタート

からキレを出せなかったようにも感じられたが、持っているバイクの力を全部出し切る気持ちで向かって行った。周回の中で目立った坂道やテクニカルなコーナーは無く、ただひたすら脚を回転させた。

先頭とタイム差は開いたものの、優勝された松丸選手に次ぐバイクラップ2位でバイク終了時に順位を2位まで上げた。



さて、真っ直ぐにバイクパフォーマンスをできたのは絶対的な信頼をおける「ホルメンケミカル」のおかげであると確信している。今回は、レース前の最終メンテナンスまでサポートを頂き、これまでに無いスムーズな回転とギアチェンジが可能となった。

バイク終了時で、3位との差は数十秒。このまま振り切ってさらに優勝も狙っていたところであったが、ランでやや失速してしまった。やはりバイクで全てを出すつもりでいったツケがきてしまったようだ。全身が悲鳴を上げていたが、呼吸を整えながら粘りの走りとなった。

結果、順位を一つ落とすこととなったが、総合3位でフィニッシュ。本大会で見たこと（今後の修正点）は、

- ・ スイムでの集中力
- ・ バイクとランのペース配分



である。特にバイクでは、これまでランのことを考え、バイクを抑えることもあったが本大会では抑えることなく攻め続けた結果、自分の力を改めて確認することができた。

今後のレースに大変役立てられる、良い経験ができた大会となった。

さて、レース後のユニフォームの洗浄。これまでは水洗いでさっと済ませていたが、ここで登場するのが、「テキスタイルウォッシュ」。この洗剤はスポーツウェア専用で作られたもので、繊維を痛めること無く、高機能繊維の機能を回復させてくれる上、速乾性向上効果もある優れたものである。洗い上がりは爽やかな香りがし、乾燥すると生地がダランとすることなく整っている。



次回のレース予定は、

みなと酒田トライアスロンおしんレース（山形県酒田市）

※6月23日 エイジの部

東北選手権も兼ねており 1 枠の日本選手権を争う大事なレース。ホルメンケミカルで、さらにながらばりたいと思います！

